



猫との上手な遊び方



猫には、獲物を追いかけて捕まえて食べる本能があります。(捕食行動)
そのため、家庭で飼われている猫は同居動物と追いかけてっこをして遊んだり、飼い主様とおもちゃで遊んだりして、捕食行動をさせる必要があります。

おもちゃを使って遊ぶことは、飼い主様とのよいコミュニケーションにもなります。

おもちゃで遊みましょう

注意!

普段手元におもちゃがない時に、自分の手足で猫と遊んでいませんか？

手足を使って猫と遊ぶと、飼い主様を獲物に見立てて飛びかかったり噛みついたり攻撃するようになります。

普段からおもちゃを使って一緒に遊ぶようにしましょう。



体を動かす機会

おもちゃを使っての遊びは、日課として適度に体を動かす機会になります。

若い頃からおもちゃで遊ぶ習慣がないと、おもちゃで誘っても遊ばない猫もいるのでおもちゃで遊ばせてあげましょう。

また、室内飼育の猫は刺激不足・運動不足になり、ストレスとなる場合があります。

そのため部屋を見渡せるキャットタワーや、窓から外を見渡せるような環境も必要です。



ひとりで遊べるおもちゃ

猫と一緒に遊べない場合は、ひとりで遊べるおもちゃを利用しましょう。生き物の形をしていたり、音が出たりブルブル震えるおもちゃもあります。追いかけて遊べるおもちゃは夢中になって遊ぶので、周囲に家具や段差など危険なものがないか注意しましょう。



捕まえて遊べるおもちゃ



爪とぎの中にボールが入っているおもちゃ



コロコロ転がって追いかけるおもちゃ

飼い主様と一緒にあそべるおもちゃ

棒の先に獲物や紐がついているおもちゃは飼い主様と一緒に遊ぶので楽しいコミュニケーションの時間になります。



適切なおもちゃ選び

誤食に注意!

壊れやすい素材や紐状のもの等は飼い主様が目を離している間に猫が誤食してしまうことがあります。当院でも、おもちゃの誤食で胃内異物や腸閉塞になり、開腹手術になる事が多くあります。

遊んだ後は必ず猫の手が届かないところにしまいましょう。

※スマホやタブレットのアプリで獲物を追いかけても最終的に捕まえられないようなものは、猫のストレスに繋がることがあります。



わからない事があれば気軽に病院へ相談しに来てください。